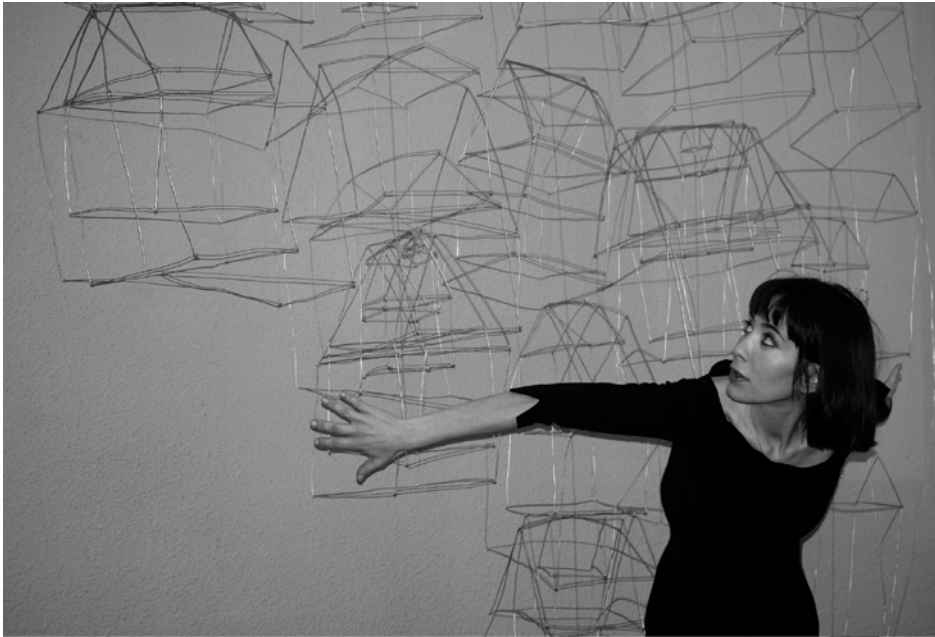


FANYKANO ファニー・カノ スペイン



タラベラ・デ・ラ・レイナ市（トレド県）の美術工芸学校を卒業（1994年）、マドリードで学問教育を続け、エウロペア・デ・マドリッド大学で美術の学位の修士号を（2006年）、またマドリッド・コンプルテンセ大学で博士課程を修めた（2010年）。2007年からアートと建築のプロジェクトを幾つも手がけている。

2010年から2012年には、国の内外で美術展[?]を開催。公的機関およびプライベートコレクションに作品がある。これまで様々な賞を授与されており、重要なコンクールでファイナリストになっている。

タイトル：吹く＝福

作家の言葉：「平和」は数多くの喜びと幸福への希求によって表現されます。

日本の”折り紙”をベースに、この「吹く＝福」プロジェクトのは拝観者の参加によって完成されるインスタレーション作品です。

禅の深い教義であり、真の「〜である」の表現としてのシンボルである絶対的完全、「円想」から出発して、願いの象徴を宿す作品を置くことによってハーモニー、能力そして個の自由に最大限に近づこうとする試みです。

「吹く」行為の連続によって無限という考えが表現されます。それはふつふつと生まれては周囲に広がり、「空気の花」の赤い塊となって地表を埋めていくのです。

最初拝観者の前に折りたたまれていた作品は、その人が吹き入れる息によって実体を持った”ORIGAMI”として完成されるのです。それはまた幸福への願いを入れる小さな器なのです。そしてそれは即インスタレーション作品の一部になります。

息を吹き入れ、膨らますことは単に面白さ以上に、自分自身の一部をそこに残すことにより、願いの魔法の記憶を入れる器を作ることでもあるのです。

さらにそれがアート作品を形作ることにより、無限のサークルとして成長し、また御供物の意味合いを帯びていくのです。